

線射波

イスラエル軍がレバノン国内のゲリラ組織ヒズボラの基地を攻撃

イスラエル軍がレバノン国内のゲリラ組織ヒズボラの基地を攻撃したり、ヒズボラ側からの報復攻撃が繰り返されたりしている。アメリカとフランスが停戦仲介に取り組んでいる。(二十七日停戦発効)

らの攻撃にさらされているレバノン南部から、北部に向けて約四十万人の一般市民が避難中とのことであった。

危険を恐れるあまり、安全なところに活動範囲を定めてしまうと、有効な活動ができない。といって、わが身を顧みずに活動せよ、などとは、とても言えたものではない。現地へ向かう者も、それを送り出す者も、的確な判断と大きな覚悟を求められている。

危機管理

去る二十日の夕方、診療を終えてくつろいでいると、AMD A本部から電話が入った。そのレバノンに医療団を緊急派遣する方向で調整しているが意見を聞かせてほしい。

直ちに派遣人員の人選に入り、二十四日に三人の三カ月分に相当する薬、および医療器具をセ

ットにした約二ト半の荷物を携えさせて、医師三人・看護婦一人を第一陣として成田空港からエールフランス機で送り出した。

AMD Aでは、掛け金を負担してすべての派遣者を保険に加入させている。それは組織としての義務であり、とりあえずの危機管理でもある。

このようなプロジェクトを開始するにあたって、いつも第一

このようなプロジェクトを開始するにあたって、いつも第一

被災民の緊急救援活動に身を投ずるということは、被災民が命を脅かされている環境に際限なく自らの身を近づけるといふことにほかならない。

(小林 米幸) AMD A・アジア医師連絡協議会日本副代表



イスラエルか

このようにプロジェクトを開始するにあたって、いつも第一

被災民の緊急救援活動に身を投ずるということは、被災民が命を脅かされている環境に際限なく自らの身を近づけるといふことにほかならない。

(小林 米幸) AMD A・アジア医師連絡協議会日本副代表